

議会報告会の概要

【参加者】 障害者法定雇用率の件、議会評価が拡充となっているが何を拡充するのか？

【委員】 障がい者雇用に水増しはない、法定雇用率に達していないのは議会でも問題視している。拡充の理由は障がい者の雇用について、商工会議所及び企業と連携し活動しているため拡充とした。

【参加者】 職員数が増えている。一般職員が40名増えている理由は。

【委員】 昔と違い業務が重複しているため、専門性に特化した職員が多く必要である。人的要求をかけても希望通りには入らず、幹部の退職も多くあったことから、かなりの人数を採用しないと業務が回らない状況となってしまった。また、技術職も不足しており、AI、民間委託を増やして対応している。議会としては時間外、働きかたのチェックをしている。

【参加者】 平成28年度と平成29年度の比較では業務量が増えていない。業務の内容や組織のあり方を見直すべき。退職者の絶対数ではなく、人数を計上すべき。人件費の増加は義務的経費が増えてしまう。

【委員】 10年間の総合計画に従って組織改正を実施している。ご指摘の通り、見直す必要があると認識し議会としては、総務常任委員会で政策提言をしている。

【参加者】 茅ヶ崎市の行政水準に関してどのように議論されたか。自治体間で大きな差があってはならない。生活環境、教育、福祉について等、神奈川県内及び類似市との比較はどのようになっているか。

【委員】 決算審査の中では議論されていない。ただし、茅ヶ崎市の状況について、平成29年度市税負担状況は県内16市の中で14位、一般会計歳出は16市中16位、市債については16市中9位という結果であった。

【参加者】 比較されていないことについて、茅ヶ崎市は遅れている。一つの問題として柳島スポーツ公園のやり方について適切だったのか。身の丈に合った行政運営の在り方について、どのように議論されたのか。

【委員】 公共施設の施設再編については、見直しの必要性を感じている。毎年、議会の中では予算決算を含めて議論している。一例として、雇用促進住宅の購入についてはやめていただいた。柳島スポーツ公園については相模川堤防整備の必要性があり実施した。この事業の決算については、平成30年度ではなく平成31年度以降になる。様々な調査及び議論を経て実施する事なのでご理解いただきたい。